

**2017年度（平成29年度）
社会福祉法人 江刺保育園
事業計画**

2017年度（平成29年度）本部事業計画

平成29年度 本部事業計画(案)について

1. 江刺保育園として子ども達の成長を支える保育事業を継続する。
2. 施設を利用していない保護者のための子育て支援事業を継続運営する。
3. 病後児保育（体調不良児対応）を継続する。定款に第2種社会福祉事業として記載する。
4. 幼稚園免許更新の必要な職員にはそのための時間を与える。
免許更新のための時間はあてるが、そのための経費等は自己負担とする。
5. 社会福祉貢献活動担当者（千葉文保育士）を配置し、具体的な活動を計画、実施する。
6. 社会福祉貢献活動を実施するための規程を整備する。
7. 地域社会、並びに小学校、中学校、高等学校、その他の近隣施設と連携協力しながら社会に貢献する活動を行うことに努力する。
8. 今後15年以内に園舎改築の実施のため資金の準備、土地の選定、その他、検討を行う。
9. 社会福祉法人としての適正な運営を行う。
定例評議員会1回、理事会年4回、内部監査年4回、外部監査を毎月行う。
適正な予算執行に努力する。
10. 老朽化に伴う修繕を行う。（今年度は大きな修繕の予定なし。）
11. 新しい遊具を設置する。運動能力を向上させる遊具の設置を検討する。
12. 岩手県社会福祉協議会保育協議会、及び胆江地区保育協議会の活動に参加協力する。
園長は岩手県社会協議会・保育協議会顧問としてのその役割を果たす。
13. 講演依頼等がある時は積極的に承諾する。
14. 佐藤晃信税理士事務所に外部監査を継続して委託する。
15. 江刺保育園職員並びに有期雇用職員（臨時職員、非常勤職員）の待遇改善に努力する。

江刺保育園本部活動予定

4月 1日(土) 辞令交付式午後2時より 理事長より辞令が交付される。

4月10日までに新しい定款を登記する。

4月 4日(火) 入園式午前10時より

5月 内部監査

平成28年度1月から3月までの出納監査

平成28年度の本部、施設の出納決算、運営状況などの監査を実施

5月 第1回理事会(旧体制の理事による)

平成28年度法人本部及び施設事業報告

平成28年度法人本部会計決算の認定について

平成28年度施設会計決算の認定について

平成29年度施設会計第1回補正について

平成29年度新理事、監事について

その他

6月 定例評議員会

理事、監事の選任について

平成28年度事業報告の承認

平成28年度決算の承認

規程の承認決定

その他

7月 内部監査 平成29年度4月から6月までの出納監査

8月 県、奥州市指導監査(予定)

施設は広域振興局、本部は奥州市による監査

9月 第2回理事会

平成29年度本部及び施設会計の中間補正について

平成29年度本部及び施設の運営状況等の報告について

その他

10月 内部監査 7月から9月までの出納監査

1月 第3回理事会

平成29年度本部及び施設会計の中間補正について

平成29年度本部及び施設の運営状況等の報告について

新年交賀会 職員との交流

2月 内部監査 10月から12月までの出納監査

3月 第4回理事会

平成29年度本部施設会計補正について

平成30年度法人本部、及び施設事業計画案について

平成30年度法人本部、及び施設予算案について

その他

3月25日(土) 卒園式(予定)

4月 3日(月) 入園式(予定)

2017年度（平成29年度）江刺保育園施設事業計画

1.江刺保育の保育理念、保育目標、保育方針

保育理念 「人に愛され、人を愛する子ども」

保育理念は江刺保育園の保育を行う上で、すべての根幹になっている言葉です。「愛」ということは、許すこと、存在を喜ぶこと、心を共有すること、希望を持つこと、その人のありのままを受容し、これからの人生をより良いものになるよう共に生きようとする行為です。同時に自分自身に対しても同じ心を持ち、自分自身の生きている姿を示しながら、子どもたちの成長を支え行くという江刺保育園の意思を示しています。

保育目標 子どもが生きる力を獲得しその過程を支える。

保育の働きは「生きる」ことを伝え、それを支えることです。健康であること、食事ができること、排せつが自立すること、言葉を獲得すること、自分の意思を伝えること、表現すること、人との関わり合いができること、命を愛すること、すべてが「生きる」ということです。子どもたちの持っている生命力を妨げることなく、良き成長ができるように支えることが江刺保育園の目標です。

保育方針

保育目標を達成するために、保育の内容を次の項目のように細分し、保育の方針を定める。個々の方針の中に含まれると思われる対応を示しています。

- | | |
|------|--|
| 健康 | 規則正しい生活習慣を身につける。また、正しい食事をして健康な体をつくる。
(衛生、健康診断、身体測定、食育、日常の遊び、3B体操、運動会、等) |
| 人間関係 | 家族との関係を基礎として、遊びや交流により、多くの人との関わりを持つ。
(日常の遊び、異年齢の交流会、施設訪問、社会見学、運動会、英語、等) |
| 環境 | 安全で自由に行動できる場所を提供する。
(園舎、園庭、遊具、保育室、等) |
| 言葉 | 言葉を理解し、他者の思いを理解する。
(日常の生活会話と遊び、絵本、紙芝居の読み聞かせ、詩吟、英語、等) |
| 表現 | 自分の意思を伝える。今の自分自身の姿を遊びや作品や演技を通して表現する。
(日常の生活会話と遊び、発表会、詩吟、等) |
| 命の尊厳 | すべての命の大切さを理解し、思いやりの心を持つ。
(日常の生活、異年齢の交流、畑作り、行事、等) |
| 情緒 | 生まれてきたことを喜び、安心して毎日を過ごす。
(保育全般) |

2. 取り組む事業

1. 地域との繋がりを継続し、保育に関して、積極的に地域社会に貢献する。
老人クラブ、地域の自治会、等と協力関係を継続する。地域の行事等に協力依頼がある時にはできる限り協力する。また、施設での夕涼み会、文化祭、交流会、等は地域に積極的に参加を呼びかける。
2. 地域に江刺保育園の取組を積極的に発信する。
ホームページの発信、子育て支援文書の発信を行う。
3. 他施設、関係機関との連携を強化する。
岩手県保育協議会、胆江地区保育協議会の事業、研修に参加協力する。近隣の保育施設、小学校、中学校、高等学校、その他の施設と連携し協力関係を維持する。
4. 全国共通テーマに沿った保育研究を行い発表する。(今年度は担当施設)
5. 障害のある子どもたちを受け入れる。(平成 29 年度 1 名が認定されている。)
6. 病後児保育(体調不良児)を実施する。
7. 幼保小運営協議会に参加する。
参加施設は岩谷堂小学校、岩谷堂小学校、八日市幼稚園、聖愛ベビーホーム、江刺保育園、公開授業及び公開保育の参加と実施、年 2 回運営協議会により各施設の情報を共有、小学校への就学児童の情報を提供。卒園児の授業参観、幼児児童の交流、等に参加協力する
8. 保護者会を組織し、協力連携し子ども達の成長を支える。
9. 定期的なヒヤリハットの報告、緊急時の救命対応訓練等、安全保育をさらに深める。
10. 保育経過記録等、保育の記録について子どもの姿をより鮮明に確認できるように、より効率的な記録方法を検討する。
11. 保育計画、保育記録、また送迎時間の管理等に I T を活用する。
12. 職員の保育能力の向上のために園外で行われる研修に職員を参加させる。
13. 保育資質向上のための園内研修を実施する。
14. 保育を実践の中で個々の職員が目標を設定し、その目標を共有しながら保育連携を密にする。
そのための全員が参加する研修を行い、個々の職員の保育能力の向上に努める。
15. チャイルド社発行の月刊誌『ポット』に食育に関する記事を提供する。(担当栄養士: 菊池千枝)

主な事業

延長保育事業	1 時間の延長保育 18 : 30~19 : 30
障害児保育事業	認定された児童 (自閉症児 1 名)、軽度障害児 1 名、を受け入れる。他障害関連施設との連携、健康増進課等の行政と連携し子ども達の生活を支える。
地域活動	地域の参加と協力、老人クラブと連携協力する。
交流事業	社会見学、老人クラブとの交流、岩谷堂小学校、江刺区内中学校、岩谷堂高等学校と交流する。
食育事業	クッキング、栄養指導、食育絵本の読み聞かせ、等を実施する。
運動遊び	プール遊び、ソリ遠足、春と秋の遠足、等を実施する。 <u>高槻譲理事の指導による体育遊び (4,5 歳児対象)</u>

リトミック	3B体操を実施し、それを参考にし、各クラスで工夫して取り組む。
言葉の保育	詩吟のお稽古（子ども達4回）、絵本の読み聞かせ
保育体験事業	中学校保育体験事業、岩谷堂高等学校保育体験の受け入れる。
保育実習	保育士養成校の保育実習を受け入れる。
相談事業	クラス個別懇談会の実施、肥満相談、子育て相談を実施する。
幼保小連絡協議会	江刺区内の幼稚園、保育園、小学校との連携し協力する。
外部研修	胆江地区保育協議会主催の研修に参加、 福祉事業団、保育協議会主催の研修に参加、その他必要な研修に参加する。
内部研修	職員会議や全体会議により児童の対応や課題を共有する。
保護者会主催行事	親子遠足、夕涼み会、運動会、文化祭等を企画実施する。
キリスト教研修	クリスマスページェントを行うためにキリスト教の研修を行う。

3. 開設予定日数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日数	25	24	26	25	26	24	25	24	23	23	23	26	294

4. 保育予定児童数(平成29年4月1日 現在)

		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
男	継続	1	8	3	7	13	12	44
	新規	1	1	2				4
	計	2	9	5	7	13	12	48
女	継続	1	3	6	10	4	4	28
	新規	3	4	2				9
	計	4	7	8	10	4	4	37
合計		6	16	13	17	17	16	85

新規入園児 13名

5. クラス編成(案)

クラス編成				
クラス名	年齢内訳		新入児童 16名	クラス担任氏名
ひよこ組	0～1歳児	18名 (0歳6名) (1歳12名)	0歳4名 1歳3名	主：佐藤啓子、副：青木蘭奈 非常勤：及川千明(常勤相当)、後藤芳江 保育補助：三宮真貴、看護師：和賀寿美恵
ちゅうりっぷ組	1～2歳児	17名 (1歳4名) (2歳13名)	1歳2名 2歳4名	主：高橋ゆきえ、副：佐藤千尋、菊地和雅、 非常勤職員：菊池かよ、
たんぼぼ組	3歳児	17名 (1名)		主：佐藤有子、副：松森美礼(障がい児担当) 非常勤：千葉加奈子(常勤相当)
さくら組	4歳児	17名		主：菅原幸恵、副：中村春美、
すみれ組	5歳児	16名		主：瀬川由紀、副：阿部さやか
非常勤	クラスフリー(主にひよこ)			小野寺礼子、菅原裕美子、
	環境整備、保育補助			大久保敦子
子育て支援	友遊広場			主：伊藤和枝、副：非常勤 小野寺奈保子
	社会福祉貢献活動			千葉丈

職員編成		
事務室	3名	遠藤清賢(園長) 菊池道世(主任保育士)、伊藤さちい(臨時職員)
保育士(正職)	5名	佐藤有子、佐藤啓子、高橋幸恵 菅原幸恵、瀬川由紀
保育士(臨時)	6名	中村春美、阿部さやか、高橋千尋、菊池和雅、 青木蘭奈、松森美礼
看護師(臨時)	1名	和賀寿美恵
栄養士、調理士	3名	正職 菊池千枝(栄養士) 松本美香(栄養士)
		臨時 細川由紀枝(調理士)
子育て支援	2名	伊藤和枝(正職)、小野寺奈保子(非常勤)
社会福祉貢献活動	1名	千葉丈 (臨時)
非常勤保育士	6名	及川千明、千葉加奈子、菊池かよ、菅原裕美子、小野寺礼子、 後藤芳江、
保育補助職員	1名	三宮真貴(臨時)
非常勤補助	1名	大久保敦子(保育補助、清掃等)

職員総数 29名

6. 給食業務

平成 29 年度

	3歳未満			3歳以上		
	カロリー	タンパク質	脂肪	カロリー	タンパク質	脂肪
江刺保育園 基準値	440kcal	16～24mg	11～16mg	390kcal	16～26mg	12～19mg
	カルシウム	鉄	ビタミンA	カルシウム	鉄	ビタミンA
	200 mg～	2.2～10.9mg	190～290 μg	250～ mg	2.2～11mg	180～300 μg
	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
	0.26～ mg	0.29 ～mg	17～ mg	0.29～ mg	0.34～ mg	17～ mg
	食物繊維総量	食塩相当量		食物繊維総量	食塩相当量	
	3.4～ g	1.6 g 迄		3.7～ g	1.8 g 迄	
	完全給食			副食のみ給食		

アレルギー児童に対する食事を対応 (卵類アレルギーなど)

児童への栄養指導、食事教育、4、5歳児調理体験、子育て支援(食事相談、調理指導)

身体測定を実施し、成長曲線を記録する。

食育事業 食育絵本読み聞かせ (全クラス対象)、栄養指導 (全クラス対象)、調理体験 (3歳児年2回、4歳児年4回、5歳児毎月)

7. 年間行事計画

月	行 事
4月	入園式 保護者会総会 新入園児歓迎会 交通安全教室 お花見遠足 園児健康診断
5月	創立記念日 詩吟のお稽古 さつま芋の苗植え 高校生との交流会、 男石お祭り出発式参加協力(4日)

6月	保育参観 プール開き 歯科検診 岩小運動会参加 親子遠足
7月	七夕祝会 夕涼み会 クラス懇談(ひよこ)
8月	すいか割大会 クラス懇談(ちゅうりっぷ)
9月	大運動会 歯科検診 火災地震避難訓練 クラス懇談(たんぼぼ)
10月	秋の遠足 さつま芋堀 詩吟のお稽古 文化祭 交通安全教室
11月	詩吟発表 園児健康診断 七五三祝い クラス懇談会(さくら) 祖父母参観 歯科検診
12月	栄養指導 クリスマス発表会 教会訪問
1月	餅つき大会 歩行訓練 そり遠足 お店屋さんごっこ
2月	豆まき 記念撮影 クラス懇談会(すみれ)
3月	ひな祭り誕生会 お別れ会 一日入園 園舎清掃 修了式 卒園式

その他 年度前半：家庭訪問（4月～6月）

毎月の取り組み：避難訓練、身体測定、お誕生祝会、手作り弁当日、移動図書館、
食育絵本読み聞かせ、クッキング、栄養指導、食育体操、食育だよりの発行
年1～2回 児童に向け看護師による手洗い講座、健康予防に関する講座
保険だよりの発行

8. その他の活動

ホームページを作成発信する。

地域との交流保育

他施設との交流（お年寄りの施設等）

男石お祭り出発式参加 5歳児（5月4日）

畑での野菜作り

江刺教会でのクリスマス礼拝参加と聖誕劇

餅つき大会(お正月)、水木団子飾り（男石老人クラブの協力を得る。）

人形劇鑑賞 お話しキャラバン「すくすく」の公演

講師による保育

運動遊び（年4回）、ソリの遠足、鉄棒、等 講師 高槻譲理事

詩吟のお稽古(4歳、5歳児年4回と発表) 講師 高橋樸理事長、高橋君子氏

3B体操(毎月1回) 講師 小島洋子氏

クリスマスのお話(11月3回) 邑原宗男江刺教会牧師

中学校、高等学校との交流

中学生、高校生の保育体験受入と交流

花植え交流会、保育園行事へのボランティア、体験保育の受け入れ、その他の交流

幼小保交流会(岩谷堂小学校学区の幼稚園、保育園との交流)

岩谷堂小学校授業参観、岩小運動会参加、1年生学習発表、岩谷堂小学校おもちゃランド参加
幼小保連絡協議会に参加

9. 園内研修

(1) クリスマスペーajeント実施に向けての研修

- (2) 新保指針の研修
- (3) 保育指針に基づいた保育計画作成について 月案、週案の作成、経過記録
- (4) 0歳児～5歳児の年齢別の保育対応について研修を行う。
- (5) 保育技術・教材の研修
 - 自主研修 子どものケース検討、障害児、子どもの食事、家族支援、
 - 園内研修 全体研修の実施(年3～4回)
 - 保育に関するセミナーの実施
 - 各自目標設定し全員で共有する。年度途中で報告年度末に自己評価を行う。
 - 事故防止委員会の報告及び検討会

10. 安全保育

- (1) 事故防止委員会の設置 保育士、看護師、栄養士による委員会を組織し、報告された事故の事例について分析、改善策、その件についての周知する委員会を設置します。平成28年度より継続
- (2) ヒヤリハットの実施 毎月第4週の職員会議にて報告協議
- (3) 歩行訓練 市の交通指導員により交通安全について指導していただく。年2回
- (4) 防災避難訓練 毎月1回火災・消火・避難訓練。地震、土砂災害を想定した避難訓練
年1回消防署員による消化実演、防火意識の指導訓練、県防災情報を随時確認
- (5) 健康管理 児童健康診断 内科、歯科、それぞれ年2回、
(内科：菊池内科クリニック、歯科：綾野歯科)
職員 年1回の健康診断、成人病検診、インフルエンザ予防接種
(江刺病院、菊池内科クリニック)
- (6) 環境安全 毎月園内の環境の点検を行う。その結果を職員会議で報告する。
毎月1回ヒヤリハット
- (7) 衛生管理 流水式洗浄除菌水生成装置を活用。乳児クラス職員、調理職員の検便(毎月)、
永薬品工業の給食室衛生管理の業務委託(毎月)。
各クラスに嘔吐、汚物処理用具を常設する。

11. 園外研修

施設長研修：遠藤清賢、主任研修及び会計経理研修：菊池道世、保育事務及び会計経理研修：伊藤さちい、年齢別保育研修：各クラス担当者、給食関係：菊池千枝、松本美香、細川由紀枝、子育て支援：伊藤和枝、小野寺奈保子、看護師：和賀寿美恵、社会福祉貢献活動関連研修：千葉丈

この他の非常勤・臨時職員も本人が希望する研修に参加できる。この他、胆江地区保育協議会江刺区研修部会活動に参加、岩手県、社会福祉協議会、その他民間主催の研修に参加

平成 28 年度江刺保育園職員キャリアアップのための取り組み

主な計画

江刺保育園の全ての職員がさらに資質を高め、自己啓発できるように研修する機会を設ける。全体研修は全ての江刺保育園職員が参加する。個別研修は各自の希望により参加できる。そのための時間を義務免除とし、遠方での研修については必要な交通費は施設が負担する。幼稚園免許更新のための時間は事業所内の業務の義務を免除し更新のために必要な時間を与える。平成 28 年度は 5 名が更新する。平成 30 年度までに免許更新を完了させる。

1. 全体研修

(保育終了後、全職員参加の研修を行う。19:00~21:00 時間外で研修する。年 4 回)

各職員が保育指針に関連する保育について数値での目標を設定する。この研修は個人の目標の達成やよい成果を求めることよりも、各自の目標を職員全体で共有し、それぞれの働きをお互いに協力支え合い、保育の連携を深めることに重点を置いた研修である。数値目標は各個人が現実的に達成可能な目標であり、数値目標なのでより具体的な対応を行うことが求めている。数値の具体的な例として「1 日に 5 人の子どもをもめる。」「1 日に 6 人の子どもの話を聴く。」等の対応を設定する。

- 保育指針に関連する保育の対応に於いて、各自が自由に数値目標を設定し、その目標を全体会議に於いて協議し発表する。
- 年度途中に発表した目標についてその経過を全体会議に於いて発表する。設定した目標が容易に達成できた者はさらに目標の数値を高め、設定し目標が達成困難な場合は数値を緩和する。
- 年度末に、設定した目標を行ったことについてその感想や過程や対応、又成果について自己評価し全体に発表する。

2. 保育記録についての研修（より良い保育記録作成のための研修）

保育記録の作成が各職員の大きな負担になっている。またその記録のために多くの時間を割くため、保育時間を有効に活用するために、合理的で、かつ児童の的確な記録作成を行うために研修を実施する。IT 化事業の補助により受け各クラス PC を 1 台設置し(クラス分)、保育計画、児童経過報告、週案、月案のソフトを導入し、保育のより良い合理化を工夫する。

3. 保育安全委員会を継続

保育上の事故、ヒヤリハット、保育環境の安全点検、等について職員会議で発表された事例について、その中でより重要な安全上の事例を精査し、その結果を職員全体会議に於いて発表、協議し保育の安全向上に努める。保育安全委員会は保育業務職員、調理業務職員、看護業務職員、で構成し、3 カ月に 1 回、年 4 回を定例とする。必要な場合は随時行うこととする。

4. 保育新制度研修（講師：園長）

平成 29 年度より告示される保育指針について研修する。

5. 幼小保連携のための研修

岩谷堂小学校と同一学区内の幼稚園、保育園、認定こども園が協力し、連携のための連絡協議会を組織し、その中で研修も企画計画する。運動会等大きな行事の交流、授業参観、保育参観、小学生との交流、保育や授業に対しての意見交換及び研究会を実施し、安心して小学生生活を送ることができるよう子どもたちを支えるための取り組みと研修をおこなう。就学児クラス担任が担当する。協議会の内容は職員会議に於いて周知する。

6. その他

個別に各職員が希望する研修（岩手県保育協議会、胆江地区保育協議会、奥州保健所、その他施設及び民間事業者が主催する研修）に参加する。

胆江地区保育協議会での研修内容

手作りおもちゃ研修、わらべうた研修、発達支援研修、0,1歳児研修、2歳児研修、3歳児研修、4歳児研修、5歳児研修、療育研修、子育て支援研修、主任保育士研修、栄養士、調理師研修、看護師研修、全体講演会、親睦会、等

保育研究発表会（胆江地区、岩手県、北海道・東北ブロック）

今年度発表担当施設となっている。発表テーマを決定する。

全国保育協議会が設定し保育研究テーマに沿った保育研究を行い、発表会に参加する。

社会福祉法人適正化セミナー

外部監査を依頼している佐藤晃信税理士事務所が主催する社会福祉法人適正化セミナーに参加する。セミナーの内容は保育会計について、社会福祉の現状について、国からの社会福祉法人に関連する通達に関連した項目についての説明会、分析等、保育業界の動向について研修する。

2016年度（平成28年度）子育て支援事業計画(案)

担当 伊藤和枝（子育て支援事業主任）、小野寺奈保子

子育て支援事業の内容

地域社会の施設を利用していない子育て家族のための、子育て全般について支援すること

子育てのための悩みや不安を傾聴する

子育ての楽しさを伝えること

子育て家族の交流や仲間作り、情報交換の場を提供すること

子育て家族に様々な体験の機会を提供すること

子育て家族に家族の人的交流の場を提供すること

ボランティアを受け入れること

保育セミナーを開催し、保育全般について基礎知識を広める。

市内の様々な福祉資源を紹介する。（保健師、歯科衛生士、助産師、ハローワーク、その他）

週5日（月～金） 10時～15時、祝祭日、日曜日、土曜日は休み、

利用料 無料（ただし、オヤツ代、教材費は実費徴収）

受入対象者

概ね0歳から3歳までの施設を利用していない保護者とその児童（特に子どもに関しては年齢制限を設けていない）、地域住民の方々等、その他。ただし、児童だけを預かる保育は行わない。

10時 受入開始 お便り帳にシール貼る（おたより帳は施設で配布）

10時30分～15時 自由時間（相談に応じる。主に傾聴）

情報交換、交流事業

絵本、紙芝居、制作、サークル活動など

昼食一緒に頂く（利用者は持参）

サークル活動事業(外部講師による) いずれのサークルも講師料は無料

英語教室、リフレッシュ体操、わくわくおやつ、親子で音遊び、ベビーマッサージ、骨盤体験体操、手作りクラブ、クッキング、フリーマーケット（毎月開催）、誕生会（毎月）、ミニ遠足、等

保育園行事との連携

3B体操、夕涼み会（7月）、運動会（9月）、文化祭（10月）、お店屋さんごっこ（2月）、人形劇観劇、プール遊び（プール開設日）、保育園体験（随時）、園庭解放（随時）

保育セミナーを開催

毎月1回15～30分程度の園長による子育てに関する講義と質疑応答の時間

友遊広場案内、子育て支援文書の発行

広場案内は毎月1回300部、子育て支援文書は隔月（奇数月）に発行1回200部

江刺区岩谷堂町内各施設に配布

キリスト教のお話会

毎月1回江刺教会 邑原宗男牧師の聖書の講義を開催する。

利用者の増加により現行の場所だけでの受け入れが難しくなって来ています。江刺教会を支援事業の場所として借用する。

社会福祉貢献活動

社会福祉貢献活動を実施する意義

平成 29 年度認可された定款第 3 条 2 項により社会福祉貢献活動を行う努力が求められたことにより実施に向け具体的に計画し実施することとする。現在江刺保育園として実施可能な事業は一人暮らし高齢者世帯に向けた給食提供サービス、放課後児童クラブを利用できない小学生の受け入れ事業等が実施可能である。そのため実施に向け江刺保育園としての実施規程を整備し、地域民生委員や行政からの情報提供を得て事業実施にむけ活動を開始する。

将来的に少子化が進み、保育事業だけで施設運営が困難になる可能性があり、その対策として新しい保育事業以外の事業を行う基盤を準備し、将来に向けて安定的な施設運営を行う準備をすることもこの事業を行う目的でもある。

具体的な実施に向けて

担当者は千葉丈保育士を配置する。

担当者は社会福祉貢献活動以外にも、地域社会や様々な施設との連携と協力のための江刺保育園の窓口になり事業展開の調整役を担う。

主なもの 幼小交流事業、地域交流事業、近隣施設との交流事業

具体的な事業展開を行う場合はボランティア受け入れ、ボランティア募集、チラシの配布等を行う。

放課後児童受け入れについては受入児童の名簿作成、スケジュール調整、宿題の指導、保育園児童との交流などの調整を行う。

給食サービスについて保育園給食担当者と連携して事業を行う。

実施に先立ち、地域民生委員、福祉行政担当者、等と連携を構築する。

事業実施するための利用規程を整備する。